

《 発表資料 》

2010年11月24日
日本経済新聞社

「日経中国関連株 50」の公表開始について

日本経済新聞社は、国内主要株式のうち中国関連度の高い 50 銘柄から構成される株価指数「日経中国関連株 50」（英文名称：Nikkei China Related Stock 50）を開発、12 月 13 日から日々の公表を開始します。

中国経済の高成長を背景に日本企業は相次いで中国でのビジネスを拡大しています。株式市場でも「中国事業」をキーワードに関連銘柄を取り上げ、分析する動きが広がっています。

「日経中国関連株 50」は、中国での事業展開を積極的に進める代表的な日本企業株の値動きを指数化することで、中国関連株の投資成果を分析・評価するツールとして活用いただくために開発しました。

「日経中国関連株 50」の主な特徴は以下のとおりです。より詳細な内容は添付の説明資料をご参照ください。

- － 日本の株式市場を代表する時価総額の大きな銘柄（原則として日経株価指数 300 の採用銘柄）を対象とします。
- － 日本経済新聞等の掲載記事での出現度合いや、有価証券報告書の開示情報などをもとに中国関連度の高さを評価し、代表的な 50 銘柄を選定します。
- － 浮動株を考慮した時価総額型の株価指数。1 銘柄の時価総額ウェイトが過重にならないように上限を設定します。
- － 2005 年 1 月 4 日を 1000（ポイント）として指数化し、1 分間隔で算出します。

以上